



<http://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

平成23年10月



ソバ畑(阿蘇市波野地区)

■今号16ページ主な内容

- JA阿蘇青壮年部・女性部の活動盛ん!
- 各生産部会の動き
- JA阿蘇ドラコン県大会で最優秀賞などに輝く
- 「あそつ子スクール」キャンプ、
「ちゃぐりんフェスタ」初開催 ほか



 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

「農業の将来に向けて、希望・意見・提言を発表しよう」

JJA阿蘇青壮年部研修会 最優秀賞など決まる

盟友の主張＝西村健児さん
組織活動実績＝大飼忠綱さん
看板コンクール＝久木野・白水支部



を語っていました。
尚、西村さんと大飼さんは10月に開かれる県大会に出場します。また久木野・白水支部の作品は県大会に出品されます。(写真上)最優秀賞の西村さん(写真中央)と大飼さん(写真右)

「農業の将来に向けて、希望・意見・提言を発表しよう」とJA阿蘇青壮年部は8月3日、一の宮中央支所で盟友50人、JA関係者ら20人が参加し、第36回JJA阿蘇青壮年部研修会を開きました。研修会では将来の夢や農業観を語る盟友の主張、組織活動実績発表、手づくり看板コンクールが行われました。その結果、盟友の主張では「感謝の日々」と題して発表した長陽支部の西村健児さんは、組織活動では一の宮支部の大飼忠綱さんは、手づくり看板コンクールでは久木野支部と白水支部が最優秀賞に輝きました。



県大会出場への抱負を語る西村さん



表彰を受ける西村さん

「政策提言集の確立を目指そう」 第2回ボリシーブック作成研修会 JA阿蘇青壮年部専門部会

JJA阿蘇青壮年部専門部会



「新しい政策提言を確立しよう」とJA阿蘇青壮年部は8月30日、盟友JA関係者ら約30人が参加し、第2回ボリシーブック作成研修会を本所當農部で行いました。

「ボリシーブック」とは盟友一人ひとりが日頃から感じている疑問や課題を出し合い、その解決策を議論した内容をまとめた政策提言集のことです。2011年度からJJA全青協が全国的に展開している活動です。

今回の研修は事前に盟友が栽培している作物を調査し、①普通作部会②園芸部会(トマト)③園芸部会(花卉)④畜産酪農部会の4班に分け、「農畜産物価格の低迷、生産資材の高騰」の課題を掲げ話し合いました。各班は同じ作

問題点があり、その課題に対しても「自分で行うこと」「青壮年部で行うこと」「JAと共に行うこと」「行政等に要請すること」に分け、熱い議論を交わしました。青壮年部の大飼忠綱副部長は「盟友の農業に対する思いが詰まつたボリシーブックを活用し、さらに地域活性化につなげていきたい」と抱負を語りました。同部会では今後も研修会を統一、阿蘇独自のボリシーブックを完成させることを予定です。



写真右上=研修に真剣に取り組む盟友ら。
写真下2点=盟友からの意見を取りまとめる作業



**最優秀賞に後藤悦子さんの
「なすのからし漬け」**



J A阿蘇では9月13日、本所営農部でJA阿蘇女性部主催による「加工品コンクール」を行いました。JA阿蘇管内各支部から17点の応募があり、大根やなすを使った漬物から、竹の子やベビーコーンを使った漬物など個性豊かな加工品が出品されました。

審査は「自家製の野菜を使用しているか」「味や色合い風味」など、JA役職員や女性部支部長ら21人が試食して行いました。審査の結果、一の宮支部の後藤悦子さんが作った漬物「なすのからし漬け」(写真右)が最優秀賞に輝きました。審査員は「出品された加工品はそれぞれの家庭で工夫を凝らして作られており、とてもおいしかった。これを商品化して販売する方向にできると良いですね」と講評していました。

表彰式は11月8日、「JA阿蘇女性部フォーラム」で行われます。

**女性部役員が藍染め体験
JA阿蘇女性部高森支部**

J A阿蘇女性部高森支部では8月3日、支部役員の研修の一環として「藍染め体験」をしました。当日は同支部がある南部地区で9月3・4日に行われた着物展示会の事前講習会を兼ねての催しとなり、呉服専門店の指導により藍染めの仕方などを支部役員11人が習いました。参加した役員は「想像以上に出来栄えで感激した」と話していました。高森支部では、今回の藍染め体験も含めて、今後は料理教室なども開き部員相互の交流の場を作っていくとしています。(写真下=完成した藍染め)



**心を結ぶ「ミサンガ作り」
女性部3支部合同で
部員交流**

J A阿蘇女性部白水・久木野・長陽の3支部では8月18日、地区の範囲を超えての交流を目的に「ミサンガ作り」に挑戦しました。当日は3支部の役員16人が参加。試行錯誤しながら約2時間かけて「ミサンガ」が完成しました。参加した部員は「難しかつたけどバターンを覚えると楽しく出来た。子供にも作つてあげたい」と話していました。3支部では今後も料理教室や体験作業など部員交流の場をたくさん作っていきたいとしています。



完成したミサンガ(写真上)と女性部役員の皆さん(写真右)



市振興に基づく営農指導がより可能に
2012年度から本格稼動



「農家の経営の安定を図ろう」とJA阿蘇管農部は9月28日、一の宮中央支所で阿蘇地域振興局・園芸連絡協議会・青色申告会・JA関係者ら40人が参加し、農家経営支援システム開通式を行いました。

工藤保雄組合長は挨拶の中で「診断結果に基づいて、農家面談や巡回を行い、的確な経営指導で組合員の所得向上に努めたい」と抱負を述べました。

J.A.阿蘇では、これまでの集団的経営・技術指導から、個人の生産者の経営状況に応じた指導を行い、産地全体のレベルの引き上げと生産者の所得向上を目指していますが、この新たなシステムは従来から行われていた農家経営分析に加え、生産技術分析と将来の農業計画を組合員に提示することができ、根拠に基づいた指導が可能となり大きな期待が寄せられています。



JA阿蘇高森スイカ部会（岩下実部会長）では8月8日より特産「色見スイカ」の出荷を行いました。今年は定植後の天候不順により、やや生育は遅れ気味でしたが、梅雨明け以降の天候に恵まれ、昨年より大きくなり2日程度早い出荷となりました。当日はJAの担当職員が集荷場に持ち込まれたスイカを1玉ずつ手でたたきながら秀・優・良の3階級に分けて箱詰めし、約300玉を出荷しました。

同部会のスイカは高森町色見地区で栽培されており、「色見スイカ」として地元では有名です。しかし、今では生産JA阿蘇南部ナス部会（本田五男部会長）では8月20日、「ヒゴムラサキ収穫体験ツアーワーク」を開きました。同体験ツアーワークは、大手食品メーカーのハウス食品が企画したもので、一般応募で選ばれた熊本市内の36人の消費者が参加しました。当日は生産者の森田勝さんの中でも育った美味しいヒゴムラサキをよく見てください」と呼びかけ、参加した親子は「ナスが育っているのは初めて見ました。森田さんは「阿蘇の大自然の中で育つた美味しいヒゴムラサキをよく見てください」と呼びかけ、参加した親子は「ナスが育っているのは初めて見ました。大きいヒゴムラサキが収穫できた」と喜んだり、大人の青丈より大きいナスの草丈に驚いた様子でした。当日は、収穫体験作業のあとに同部会女性部

**希少価値高い「色見スイカ」
初日に約300玉出荷**

J.A.阿蘇では生産部会員（1800人）の8割を分析目標に掲げ、2012年度から本格稼動を行う予定です。
(写真上)開通式で挨拶をする工藤組合長

販売担当の田上伊織職員は「今年は昨年より大きいものが出来、味についても例年以上の出来となった」と話していました。(写真上)集荷場に持ち込まれた色見スイカ)

者や作付面積の減少により希少価値の高いスイカとなっています。出荷当日は、色見スイカを待ちにしていた消費者が直接集荷場に買いに来る姿も見られました。

消費者との体験交流会行う JA阿蘇南部ナス部会

の協力で、ヒゴムラサキなど地元野菜を使つたカレー作りが行われました。本田五男部会長は「体験ツアーワークは、実際に作つて、見つける所を消費者に見てもらうことで、安心安全な農産物作りに取り組んでいる姿を理解してもらえる。自分たちも消費者を裏切らないような農産物を届けたい」と話していました。(写真右)同部会農業について説明を聞く参加者の皆さん)



各生産部会から、各地域から、実りの秋だより

「考えられない分化スピード…」
イチゴ定植始まる

JJA阿蘇中部地区



イチゴの定植作業の様子

JJA阿蘇中部地区管内では8月23日より、県下トップを切り2011年産イチゴの定植が始まりました。今年は、お盆明けより冷え込みもあり例年に比べ10日ほど早い定植となりました。管内では育苗期の高温により、病害の発生が多く、また梅雨の曇天の影響もあり生育の停滞でランナーの発生が遅くなり、定植苗の不足が心配されましたが、生産者の肥培管理、またJAの指導により順調に採苗できました。

指導員の浅久野衛職員は「考えられない分化スピードだが、秋雨の影響があり、定植の準備等の遅れが懸念されるが、対策を周知しており、今後活着の指導を徹底していく」と語っています。

同地区の作付面積は13ha(前年对比100%)、生産者数53人(前年同)、販売高5億円(前年对比1-3%)を見込んでいます。出荷開始は早い作で10月20日頃の予定で、出荷先は主に関西地方市場を重視して予定されています。

部会員居住の12保育所などにトマト贈る JJA阿蘇南部トマト部会



JJA阿蘇南部トマト部会(村上豊彦部会長)は8月23日、部会員が居住している町村の12保育所・幼稚園にトマトを贈呈しました。この日は、南部トマト部会役員14人が手分けをして、各園に届けました。

部会では子供たちに、自分たちの住んでいる所でどんな野菜が出来ているかを知つてほしいと、7年前より地元保育所などへ食材の提供を行っています。担当職員は「将来を担う子供たちに少しでも役に立てる嬉しい」と話していました。(写真上=トマトを受け取る代表の園児)

部会では子供たちに、自分たちの住んでいる所でどんな野菜が出来ているかを知つてほしいと、7年前より地元保育所などへ食材の提供を行っています。担当職員は「将来を担う子供たちに少しでも役に立てる嬉しい」と話していました。(写真上=トマトを受け取る代表の園児)

「米豊作と全量1等を願う」 米初検査好スタート



JJA阿蘇は9月9日、阿蘇市の小里倉庫前で生産者・農産物検査員・JJA関係者ら約50人が参加し「豊作・全量1

等祈願祭」と「2011年産米初検査」を行いました。当日は主要品種である阿蘇特別栽培米「コシヒカリ」39.2袋(1袋30kg)と「ミルキークイーン」42袋(同)が検査され、全量が1等米でした。11年産米の生育は田植期の低温、5月下旬から6月中旬の日照不足により、生育の遅れや茎数の確保が少なかつたことが影響しやや不良(作況指数95.98)となっています。検査を行った山部隆義検査員は「品質良好で安心刈り取りはこれからが本番。今後の上位等級を期待する」と話していました。今後「コシヒカリ」は9月下旬まで収穫が続き、「ヒノヒカリ」「あきげしき」と集荷が続きます。JJA阿蘇では予約俵数25万5000俵(60kg)の全量集荷を目指しています。



写真上=祈願祭で挨拶を述べる工藤組合長
写真下=真剣な表情で検査をする山部検査員

あそっ子スクール

8月5~6日 西原村「風の里」でキャンプ!!

チヨー楽しいパフォーマンス、イベントで盛り上がる!

8月5~6日、西原村の風の里キャンプ場で「あそっ子スクールキャンプ」が行われました。キャンプには阿蘇郡市の小学校より30人が参加。最初の活動はてんぶら油の醤油を使った「醤油キャンドル作り」です。竹の器に思い思いに絵など描いてオリジナルのキャンドルを作りました。その後、各組に分かれて旗作りや夕食の調理実習を行い、全員で「まいきり式火起こし器」という道具で火起こし体験をしました。あそっ子のほとんどが初めて見る道具や体験のため、火を起こすのに悪戦苦闘していました。結局、煙は出るもののは火はつきませんでしたが、「貴重な体験をした」と皆満足していました。

夕食後はキャンプファイヤーが行われ、点火では“忍者”が現れて、愉快なパフォーマンスで火がつけられるとあそっ子らから盛んな歓声があがりました。その後、JA職員によるミニコンサートと各組ごとに出し物の発表会が行われました。また、食と農に関する寸劇が披露され、JA職員が扮する“ちゃぐりん”やご当地戦隊“ヒゴムラサキ”が登場すると、あそっ子から盛んに歓声や応援の声があがりました。



ご当地戦隊「ヒゴムラサキ」

悪戦苦闘の火起こし



みんなで食べるとおいしいね!

農業の大切さ
楽しさを
学んでください!



2日目は全員で“ちゃぐりん体操教室”で体を動かして、「バウムクーヘン作り体験」をしました。太い竹に生地を塗りつけて炭火の上で回して焼く工程を、あそっ子らは真剣な眼差しで繰り返し作業をしていました。焼き上がったバウムクーヘンを切って試食したところ、あそっ子らは「きれいに焼けてておいしい」と笑顔で感想を語っていました。

昼食は初の試みでそうめん流しをしました。竹のといを並べてそうめんを流すと、あそっ子らは盛んに箸をのばしてそうめんを取り合っていました。そうめん以外にもミニトマトやゼリーを流したところ大好評で、あそっ子の中にはミニトマトを20個食べた子もいました。今回のキャンプは充実した活動内容で無事に2日間の日程が終了しました。

大好評のそうめん流し



baumkuchen作りに挑戦!



まるごとあそっ子
参加者全員で「ハイ、あそっ子!!」

みんなで楽しく農業学習

8月10日「親子でちゃぐりんフェスタ」開催

子ども達に「食と農の大切さ」を学んでもらおうとJA阿蘇は8月10日に高森東小学校で「親子でちゃぐりんフェスタ」を開きました。家の光協会の子ども向け雑誌「ちゃぐりん」にちなんだイベントで、子どもの食農教育の一環としてJA阿蘇では初めての開催です。催しには高森東小の児童と保護者ら51人が参加しました。フェスタでは最初にソバの種まきを行い、その後、水田に移動しJA職員から穂の生育について説明や田んぼの生き物についての勉強会を行いました。

お昼はJA阿蘇女性部の指導で米粉を使ったピザやドーナツ作りに挑戦。米粉の料理は「簡単にできてとてもおいしい」と好評でした。午後からはフレッシュミズの工藤寿恵さんによる「お米の学校」の紙芝居や、フードレンジャー「ちゃぐりん」によるクイズ大会が行われ、「ちゃぐりん」の登場に児童からは大きな笑いと歓声があがけ、児童らは「とても楽しかった。また参加したいです」と笑顔で話していました。

JA阿蘇会長のご挨拶



ソバの種まき



ピザ作りって
おもしろいネ!



「お米の学校」紙芝居



「おじさん
ちゃんの
ちゃぐりん
に登場!!」

ドーナツ作りも楽しいよ!



大きな
ミミズをゲット!!



ちゃぐりんフェスタに参加したお友だち!



みんなモリモリ楽しいランチ★

※平成21年産米最終価格について

21年産米の精算が終了し、最終精算金を平成23年7月中旬に入金いたしました。
各銘柄ごとの最終価格は表1の通りです。

表 1

品種名	栽培区分				(A-B)
	特別栽培米(A)	一般米(B)	追加金	最終金額	
	仮譲金	追加金	最終金額	仮譲金	追加金
コシヒカリ	13,020	722	13,742	12,520	692
あきげしき	12,300	818	13,118	12,000	772
ヒノヒカリ	12,300	1,019	13,319	12,000	995
ひとみぼれ	12,300	439	12,739	12,000	439
森のくまさん	12,300	725	13,025	12,000	725
ミルキー	13,020	724	13,744	12,520	725
いただき	11,460	1,376	12,836	11,160	1,307
夢の華	12,300	1,019	13,319	12,000	12,000
その他品種	8,640	2,450	10,740	357	11,097

※平成22年産米最終精算見込について

22年産米については、23年3月末までに全銘柄販売契約を終了いたしました。各銘柄ごとの最終見込み価格については概ね表2程度となる見通しです。又、農家別所得補償制度によって前年度より米価の向上が図られている結果となっておりますので、今後も制度への継続加入とJAへの全量出荷にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

表 2(概算)

品種名	A 22年仮譲金	B 販売予定価格	C 差額 (販値)	D=流通経費 (全農:基幹連 手取料+保管料+運 賃料)	E=C-D	F 10a (1世帯+農地部 分)22年12月支払 (15,000円/10a) +23年3月支払 (15,100円/10a)	G=F÷8俵 10a当り収量8俵の場合	H=B+G 農家販売価格	I=流通販売経費 D+農地手取料+保管 料+運送料	J=H-I 農家手取価格
				(見込)60kg/俵	(見込)60kg/俵	1俵当たり単価	(見込)60kg/俵	(見込)60kg/俵	(見込)60kg/俵	(見込)60kg/俵
コシヒカリ	10,320	12,620	2,300	1,450		16,383			14,433	
あきげしき	9,240	11,150	1,910	1,060		14,913			12,963	
ヒノヒカリ	9,540	11,620	2,080	1,230		15,383			13,433	
ひとみぼれ	9,240	11,010	1,770	920		14,773			12,823	
森のくまさん	9,540	11,360	1,820	850		30,100			13,173	
ミルキー	10,320	12,560	2,240	1,390		15,123			14,373	
いただき	8,940	10,880	1,940	1,090		16,323			14,643	
その他品種	8,640	11,090	2,450	1,600		14,853			12,903	



※ 追加金支払(コシ:ミルキー1,000円/俵 その他500円/俵) 23年9月12日支払
現金については24年1月裏に最終精算にて支払予定です。

※22年度全国平均2,460円

※一般米はコシ▲500円
その他は▲300円

※平成22年産米追加金の支払について

22年産米の収穫実績の終了に伴い、追加払いを表3Cの通り実施致しました。残金(最終精算)については24年7月中も利回りの支払予定です。

表3

品種名	A 22年仮積金	B 最終精算 見込額	C 追加金支払 予定期	D=B-C 最終精算残金(見込)
コシヒカリ	JA米1等の場合 10,320	1,450	1,000	450
あきげしき	9,240	1,060	500	560
ヒノヒカリ	9,540	1,230	500	730
ひとめぼれ	9,240	920	500	420
森のくまさん	9,540	970	500	470
ミルキー	10,320	1,390	1,000	390
いただき	8,940	1,090	500	590
その他品種	8,540	1,600	500	1,100

平成24年7月
精算予定

平成23年9月12日入金

JJA阿蘇の農畜産物の認知度向上のため、新しく営農部のホームページを立ち上げました。消費者や市場向けに「農畜産物紹介」「新鮮情報」「イベント情報」、組合員向けに「組合員へのお知らせ」「トレーサビリティ」などをリアルタイムに発信しますので、是非、ご覧下さい。

ホームページURL <http://www.jaaso.jp>



→携帯からアクセスが出来ます。

JJA 阿蘇の農産物 JA阿蘇高野 ラムバーリ

ひらひのせ サイトマップ



阿蘇さんち
農産物

JJA阿蘇について

JJA阿蘇ームバーリ
トレーラビリティ
組合員
支給金の配付
組合員登録
お問い合わせ
内情報配信

阿蘇は「空気」大陸に恵まれています。

平地に比べて平均気温5度以下の高涼のため、
やわらかく甘い野菜が育つ。



44



農畜産物紹介

ドライブウェイサービスコンテスト優秀賞、2009年に焼きJA阿蘇が団体部門最優秀賞に輝く

最優秀賞の渡口職員



表推委員昇昇口澤

JA阿蘇購買部は8月2日、一の宮

給油所でドライブウェイサービスコンテストJ.A阿蘇大会を開催しました。開会挨拶で工藤保雄組合長は「事の

れた車を良く見かける。セルSSSが
増えた中で管内SSでは安全点検を
実施してくれる。SSを取り巻く環境
は日々激化している中、フルサービス

のSS並びにセルフSSに共通して言える」とはサービスの向上であり、他店舗との差別化であると考える。選手の皆さんはSSの代表者として、非常に厳しい訓練を行ってきた。皆の模範として競技して頂きたい」と力強く述べた後、競技に移りました。

同大会は接客・点検・技術サービスの向上を図るとともに、経営の強化に資することを目的に掲げ毎年行ってお



ドラコンJA阿蘇大会に出場した管内11SSの皆さん

り、今回は管内各SS選抜の11名が出

場しました。審査はJA熊本経済連燃料課と本所係りが担当し、接客態度などの基本的なことから、洗車や点検内容の説明・推進といった応用的なことまで詳細にわたり厳しくチェックしま

した。入賞者上位2名の職員は9月11日JAくまで行われた第34回JA・

SSTドライブウェイサービスエンタースト熊本県大会に出場しました。

- ▽最優秀賞＝瀧口 昇(西原SSS)
- ▽優秀賞＝阪田 健二(久木野SSS)
- ▽優良賞＝大原 瑞穂(馬見原SSS)
- ▽審査委員長特別賞

II 藤河有妃未(柏SS)

ラジコン車大会

推進コー^スス最優秀賞^{アワード}＝瀧口昇職員
点検コー^スス最優秀賞^{アワード}＝阪田健一職員
団体部門最優秀賞^{アワード}＝JA阿蘇



推進コース最優秀賞の瀧口職員(右)と
点検コース優秀賞の阪田職員

客・安全・技術サービス、総合印象の全4部門を詳細にわたり県下J.A代表所長や全農・経済連の17名の審査委員が行いました。推進コースでは総合印象・推進の2部門を7名の外部審査員により審査されました。

5番目に競技した阪田選手は点検コースに出場。久木野SSに6月下旬から勤務開始とまだ新人ですが、機敏な車輶誘導や点検をこなし、あふれる笑顔での接客を行いました。大会前日が2人目の子供の出産予定日でしたが、大会当日も未だ生まれていなく陣痛と戦っている妻を気にしながらも、自らもコントテストで戦い優秀賞を受賞しました。(本文次ページに続く)



阪田・瀧口職員と、県大会応援に駆けつけた
工藤組合長らJA阿蘇関係者の皆さん

20番目に競技した瀬口選手は推進コ

ースに出場。工藤組合長をはじめ沢山の方々の応援に感謝し、練習中、差入れをして下さった川元購買課長にお礼を述べ競技を行いました。練習中はスランプに陥り、指導を行つた先輩方や同僚に沢山叱られましたが、本番では120%の実力を發揮し見事、最優秀賞を受賞しました。

競技の結果、JA阿蘇は平成21年に統き団体部門最優秀賞を獲得しました。購買部の松岡勝也担当職員は2人とも毎日、一生懸命、叱られながら遅くまで練習しました。2人とも練習の成果を存分に發揮した演技でした。選手は勿論、OBの方々や選手配属のSS所長、練習に駆けつけて頂いた全季の方々に感謝します。特に2人は、予選会を含め2カ月以上と長い期間の練習、大変お疲れさまでした」とその努力を労つていました。



JA阿蘇職員異動のお知らせ

氏名	新 辞 令	発今年月日	旧 辞 令
伊藤 健司	金融部長兼貯蓄課長	平成23年10月1日	金融部長
井 龍也	畜産部農産課農産係中部地区担当兼水田協議会担当 (彦山駐在) (課長待遇)兼青社年部推進担当	平成23年10月1日	畜産部農産課農産係中部地区担当兼水田協議会担当 (彦山駐在) (課長待遇)
井 達子	波野支所長代理兼女性部推進担当	平成23年10月1日	波野支所長代理
山口 優子	総務部総務人事課総務人事係	平成23年10月1日	彦山支所長代理
高本 英治	蘇陽中央支所購買課購買係兼青社年部推進担当	平成23年10月1日	蘇陽中央支所購買課購買係
井 幸美	彦山支所長代理兼女性部推進担当	平成23年10月1日	総務部総務人事課総務人事係
川崎 和美	事務電算室事務電算課営業事務処理係	平成23年10月1日	蘇陽中央支所会融共済課金融共済係
村上 貴代	高森中央支所会融共済課金融共済係	平成23年10月1日	西原支所会融共済係
吉川 薫沙	一の宮中央支所金融課金融係	平成23年10月1日	一の宮中央支所購買課彦山購買係(一の宮グリーン)
帆足 尚治	一の宮中央支所購買課波野購買係(一の宮グリーン) 兼青社年部推進担当	平成23年10月1日	一の宮中央支所購買課波野購買係(一の宮グリーン)
松本 克也	阿蘇町中央支所購買課阿蘇町給油所係	平成23年10月1日	一の宮中央支所購買課購買係(一の宮グリーン)
鷲田 尚仁	一の宮中央支所購買課購買係長(一の宮グリーン)	平成23年10月1日	畜産部農産課農産係中部地区担当兼水田協議会担当
西村 友一	畜産部園芸課指導販売係兼農産係南部地区担当 (西原駐在)兼青社年部推進担当	平成23年10月1日	畜産部園芸課指導販売係兼農産係南部地区担当(西原駐在)
北里 雄	畜産部農産課農産係小国地区担当(精米所・茶)	平成23年10月1日	小国郷中央支所購買課Aマート係
岩下 愛店	一の宮中央支所購買課購買係(一の宮グリーン)	平成23年10月1日	阿蘇町中央支所購買課阿蘇町給油所係
安藤 俊	小国郷中央支所購買課Aマート係	平成23年10月1日	畜産部農産課農産係小国地区担当(精米所・茶)
大森 祐	畜産部農産課農産係中部地区担当兼水田協議会担当	平成23年10月1日	一の宮中央支所購買課購買係(一の宮グリーン)

「くまもとあぐりん」
下田剣太郎さん(南阿蘇村)
ミニトマトを取材



J.A.グループ熊本と熊日新聞社との共同企画「くまもとあぐりん」の取材が10月1日、南阿蘇村の下田剣太郎さんは米(160kg)・ミニトマト(45kg)・メロン(40kg)を栽培しています。

当日は熊本市より読者リポーターの中里さんがミニトマトハウスを訪問。下田さんはミニトマトについての説明を受けた後、真っ赤に実ったミニトマトを頬張りながら、「たくさんの中のトマトを収穫していました。この「くまもとあぐりん」は10月26日の熊日新聞に掲載されます。

写真右=取材を受ける下田さん
写真左下=読者リポーターの中里さん一家



一連の農作業を体験した川端職員

農業経験の少ない新入職員が農作業を体験することによって、農業や農家の生活等についての知識を深め、JA職員として必要な基本を習得するための農家実習が、9月7日から9日までの3日間行われ、4名の新入職員が管内の農家で体験をしました。

今回の表彰は、油外全部門で計画対比の105%以上を達成したSSを対象に行つたもので、高森・柏・一の宮・久木野・白水・阿蘇町の6SSの所長に工藤組合長より賞状と奨励金が手渡されました。

課の川端杏奈さんは西原村の中野敏嗣さん宅で実習し、キャベツの定植や甘藷の収穫から出荷までの一連の作業を体験しました。

川端さんは「この3日間を通して農業の大切さ、大変さを知ることができ、とても貴重な体験ができた。中野さんは温かく受け入れて頂き、一つ一つ親切に教えて下さり、本当に嬉しく感謝しています」と話していました。

J.A.阿蘇SS油外マッチレース
高森・柏・一の宮・久木野
白水・阿蘇町の6SSが受賞

J.A.阿蘇は9月21日、7月開かれたJ.A.阿蘇SS油外マッチレースの表彰式を行いました。

このマッチレースは、J.A.SSスタッフの接客・点検・技術サービスの向上並びに組合員(お客様)満足・従業員満足を図るとともに、J.A.阿蘇SS経営の強化に資することを目的に管内全SSを対象として行われたものです。

今回の表彰は、油外全部門で計画対比の105%以上を達成したSSを対象に行つたもので、高森・柏・一の宮・久木野・白水・阿蘇町の6SSの所長に工藤組合長より賞状と奨励金が手渡されました。

今回受賞した阿蘇町SS所長で、J.A.阿蘇代表所長も務める伊藤熙行所長は「セルフSSでも着実に油外の充実上げを伸ばしている。12月も必ず達成します」と次回への意気込みを述べました。J.A.阿蘇は年2回の油外マッチレースを行っており、12月も実施予定で各SSではその準備に追われています。また同表彰式では、先に行われたドライブウェイサービスコンテスト熊本県大会で最優秀賞を受賞した瀧口昇職員や優秀賞を受賞した阪田健一職員の紹介も併せて行われました。さらに全農が主催するJ.A.SS運営強化活動で優秀SSに認められた小国SSも紹介されました。



表彰を受けた6SS所長とドラコン県大会受賞の皆さん

J.A.熊本県親善野球大会

「小国郷チーム」

惜しくも敗退



小国郷チームの皆さん

白熱の試合風景



開会式で堂々の入場

第36回J.A.熊本県親善ソフトボール大会 JA阿蘇から「まる」と阿蘇の3チームが出場



開会式で整列したJA阿蘇チーム

第36回J.A.熊本県親善ソフトボール大会が9月3日、宇城市のウイングまつばせで開かれ、JA阿蘇からは予選を勝ち抜いた3チーム20人の選手が出場しました。

J.A.阿蘇は一回戦でJAかみましきと対戦。2点を先制され、その後同点に追いつくものの、最終回に1点を追加され3対2と惜しくも敗退しました。負けはしましたが、とても素晴らしい戦いを見せてくれました。

選手のみささん、本当に疲れました。

大会には県下J.A.・連合会13団体31チームが出席。8コートで予選が行われ、「まる」とJA阿蘇A(南部地区)と「まる」とJA阿蘇B(阿蘇町)はともに3戦全勝で決勝トーナメント出場。「まる」とJA阿蘇C(二の宮)は1勝2敗で惜しくも決勝トーナメント出場を逃しました。

※大会の写真は次ページにも掲載しています。



各コートでは熱戦が繰り広げられた

決勝トーナメントでは「まる」とJA阿蘇Aは「JA熊本うき」と、「まる」とJA阿蘇Bは「JA八代」とそれぞれ対戦し、善戦したもののが惜しくも一回戦敗退となりました。選手のみささん、本当に疲れました。

県大会に出場したJA阿蘇代表の3チーム



まるごと阿蘇Cチーム



まるごと阿蘇Bチーム



まるごと阿蘇Aチーム

「組合員の方々に早く名前を覚えてもらいたい」



白水中央支所
金融共済課金融共済係

下田 麻奈美
シモダ マナミ

(平成元年2月生まれ=22歳)

今年4月に入組し、白水中央支所で貯金窓口業務を担当しています。最近ようやく自分なりのやり方で仕事をこなせるようになってきた事に、喜びを感じているという下田さん。

休日は友達とよくおしゃれなカフェ巡りをしたり、

飲みに行ったりしてリフレッシュしているそうです。学生の頃は天文部に所属しており、グラウンドにシートを広げて一晩中みんなで星を眺めていたこともあったとか。また、絵本を読むことが好きで、子供達に絵本の読み聞かせのボランティアもやっていたという下田さんの自宅には絵本が30冊以上あり、今も増え続けているそうです。

特技はありますか?の質問に、なぜか「掃除」と答えた下田さん。神経質な性格からか、身の回りがきちんと整理されていないと落ち着かないそうです。

最近、友人の結婚式に出席してとても綺麗だったことに感動したとか。早く結婚したいですか?の質問に「う~ん…」。(ちなみに理想の男性は人生経験豊富でいろんな事を教えてくれる人だそうです。…記者より)

最後に、早く名前を覚えてもらい、組合員の方々に親しみを持って接して頂けるような職員を目指して、頑張っていきたいと話していました。



刈りをする子ども達

阿蘇市立坂梨小5年生18人が9月26日、今年5月に田植えした青壮年部盟友の水田で「阿蘇コシヒカリ」の稻刈り体験を行いました。米作り体験は12年前からJA阿蘇青壮年部一の宮支部が小学校と二年連続、食育・総合学習の一環で行っています。子ども達は盟友の鳴川幸宏さんから刈り方を教わり、苦労しながらも5aを1時間程で刈り取りました。子ども達は「私達が食べるお米の作り方の大変さが分かりました。ご飯をたくさん食べます」と笑顔で話していました。(写真右)盟友の指導を受けて稻刈りをする子ども達



小学生と農業体験交流
一の宮支部盟友が稻刈り指導

理事会・監事会報告

■平成23年度第8回理事会

日時 平成23年8月29日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

- 開会
- 組合長挨拶
- 協議事項

委員会報告(経済専門委員会・債権管理委員会)

7月末実績について

- 1) 信用事業方法書(為替取引・証券業務・金銭債権)の各取扱事業所の改正について
- 2) 平成23年度余裕金運用計画額及び運営方針(案)について
- 3) 「統一ローン融資要綱」「農業資金融資要綱」の制定について
- 4) 農産物検査業務規程の改正について
- 5) 阿蘇あか牛草原再生事業に伴う農協助成について
- 6) 平成23年度出荷契約米(内金)について
- 7) 平成22年度米追加金支払(案)について
- 8) 畜産近代化リース事業借受申請について

報告事項

- 1) 平成23年度上期決算権即予備監査実施要領(案)について
- 2) 購買手数料率について
- 3) 平成23年度上期決算権即休業日について
- 4) 無料職業紹介事業所届出変更申請書について
4. 閉会

■平成23年度第9回理事会

日時 平成23年9月29日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

- 開会
- 組合長挨拶
- 協議事項

8月末実績について

- 1) 生活資材購入及び教育関連資金のための金利引下げ要件の設定(案)について
- 2) 購買未収金(當農ローン)流動化対策に伴う特別資金(案)について
- 3) 農業委員(西原村)の推薦について
- 4) 貸出金について
- 5) 畜産近代化リース事業借受申請について

報告事項

- 1) 第48回農機・自動車大展示会実績について
- 2) 外国人研修生・技能実習制度について
- 3) 平成23年度全国監査機構期中監査日程について
- 4) 平成23年度上期決算事務監査監査日程について
- 5) 平成23年度非常勤理事研修会の開催について
- 6) 日本華銀座業株式会社との売買契約締結について
- 7) 平成23年度JA阿蘇総合展示会日程について

- 8) TPP交渉への参加阻止にかかる市町村議会への交渉参加反対意見書の要請について
- 9) 共済推進実績状況について
- 10) 平成23年度産米集荷状況について
4. 閉会

●平成23年度第7回監事会

●平成23年度第7回監事会

日時 平成23年8月22日(月)午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
- 1) 平成22年度決算事務監査の回答書について
- 2) 全国監査機構決算監査回答書の提出について
- 3) 平成23年度上期決算権即予備監査実施について
- 4) 平成23年度米麦等監事監査とりまとめについて
- 5) 新任非常勤監事研修会の開催について
- 6) 平成23年度監事報酬について
- 7) その他
4. 閉会

●平成23年度第8回監事会

日時 平成23年9月20日(月)午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
- 1) 平成23年度上期決算権即資産監査事務手続きについて
- 2) 平成23年度上期決算監事監査について
- 3) その他
4. 閉会



フレマスター JA自動車共済お見積り

JA阿蘇！選んでなつくキャンペーン

平成23年10月～12月末

Q

ちょうど更新時期
だけど前と同じで
いいかしら？



自分が入っている保
障の内容について
詳しく知りたい！

事故を起こしたとき
の対応やサービス
はバッチリして！

自動車保険の
保険料なんとかな
らないの？

A

みなさん！
JAの
**自動車共済で
掛金のお見積りを
してみませんか？**



現在ご加入の保障内容(保険証券等)がわかるものを用意のうえ、
お見積りをご依頼ください。



JAの自動車共済は確かな安心と納得の掛金！
昼夜問わずの現場急行！充実のレッカー・ロードサービス！安心感が違います！！

お見積りいただいた方全員に粗品を進呈！

さらに、抽選で100名様にJA-SSガソリン10L券をプレゼント

お見積りはJA阿蘇各支所窓口へどうぞ